

# 海上保安庁におけるメディカル コントロール体制の現状

---

令和元年度  
全国メディカルコントロール協議会連絡会（第2回）

令和2年1月31日（金）  
海上保安庁メディカルコントロール  
協議会事務局  
（海上保安庁 警備救難部 救難課）

生命を救う（海難救助等）

領海・EEZを守る（領海警備）

治安の確保（密漁・密航対策等）

海をつなぐ（関係国との連携等）

災害に備える（事故・自然災害対策）

海を知る（海洋調査等）

海上交通の安全を守る（海難防止等）

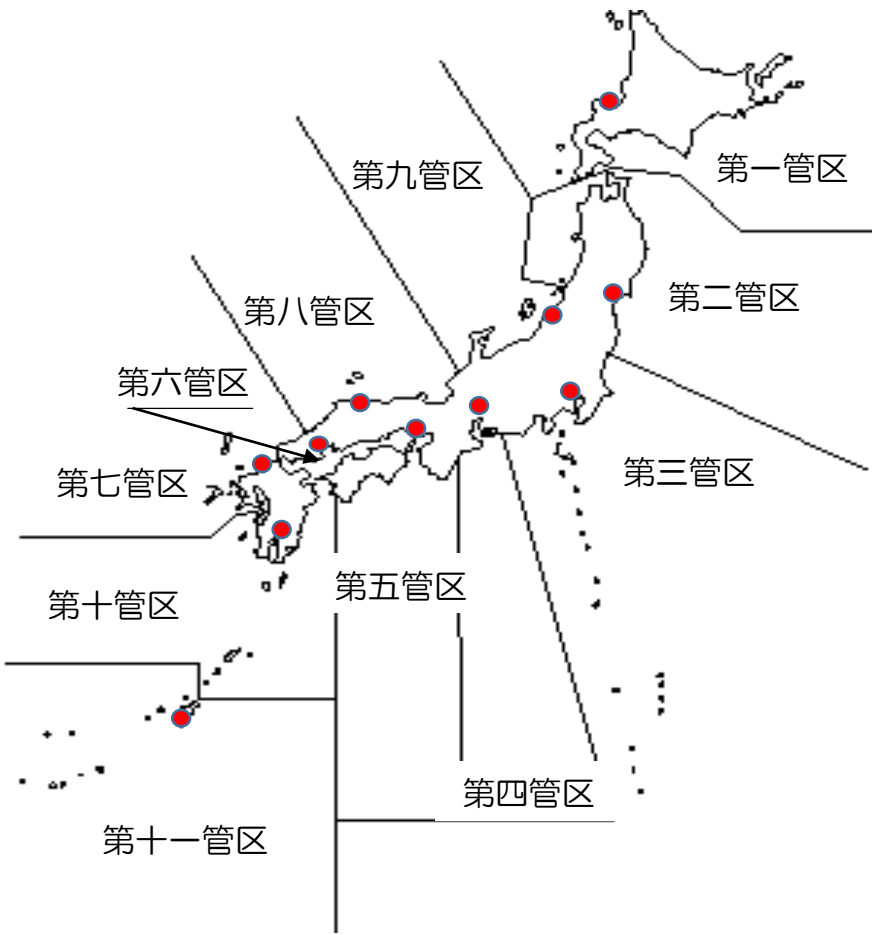
青い海を守る（海洋環境保全対策）

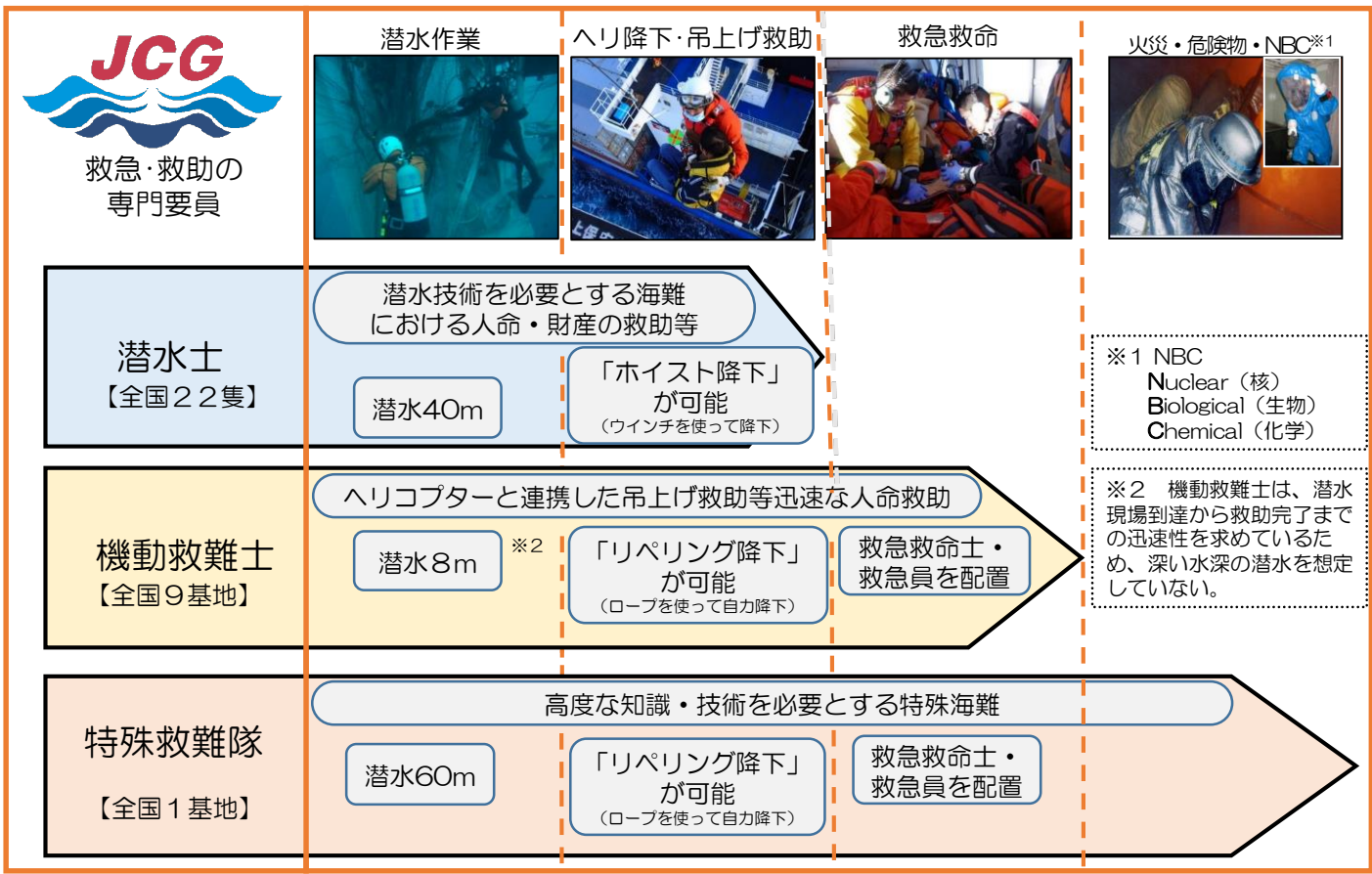


# 海上保安庁の勢力及び管区本部

|         |          |
|---------|----------|
| 職員数     | 約14,000名 |
| 船艇総数    | 465隻     |
| 巡視船・艇   | 376隻     |
| 特殊警備救難艇 | 67隻      |
| 測量船     | 13隻      |
| 灯台見回り船  | 6隻       |
| 教育業務用船  | 3隻       |
| 航空機総数   | 80機      |
| 飛行機     | 31機      |
| ヘリコプター  | 49機      |

平成31年4月1日現在





平成3年4月 救急救命士法施行

平成4年4月 海上保安庁救急救命士の養成開始

平成6年4月 海上保安庁救急救命士の配置  
(羽田特殊救難基地)

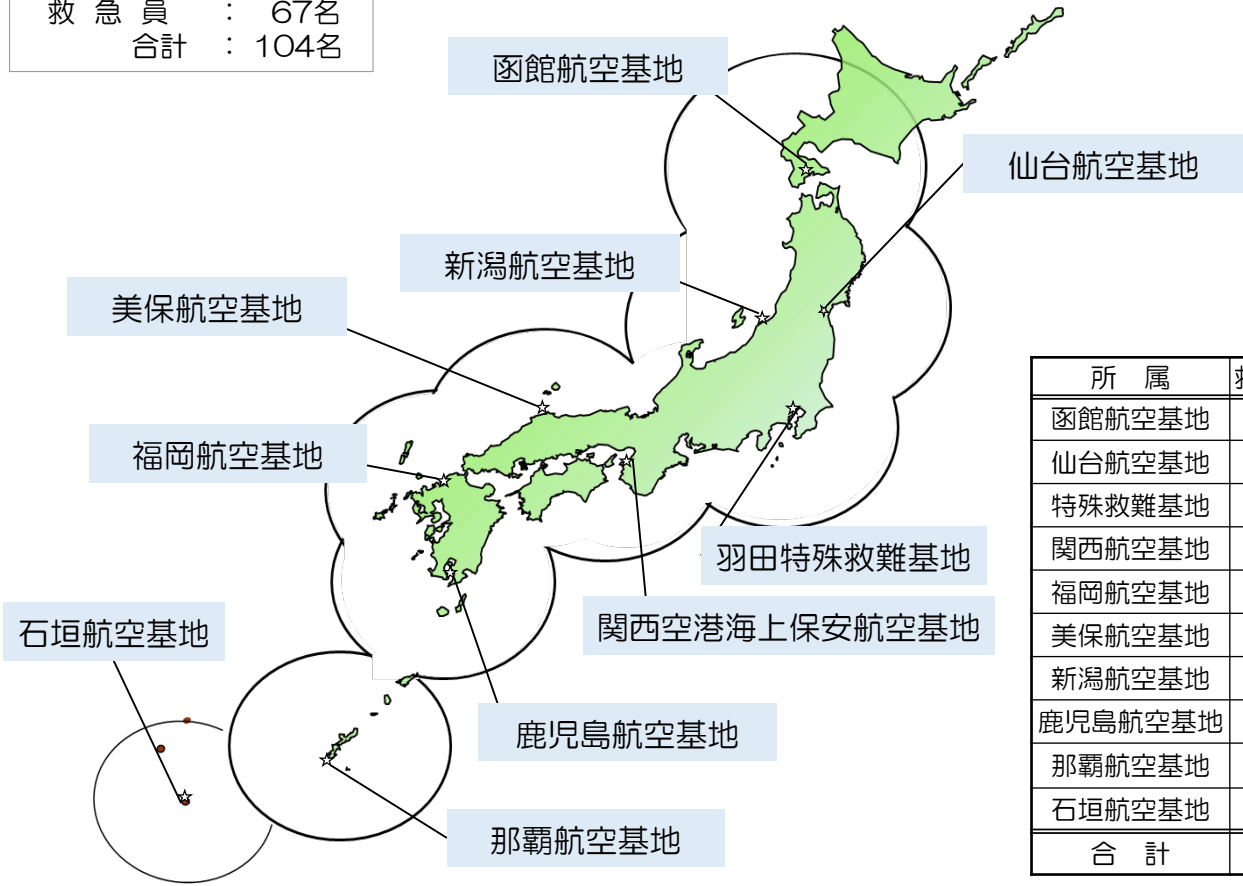
平成15年3月 救急救命士法施行規則 一部改正

平成17年6月「海上保安庁メディカルコントロール協議会」設置  
※ 救急医療に精通した全国の医師及び法律の専門家の方々

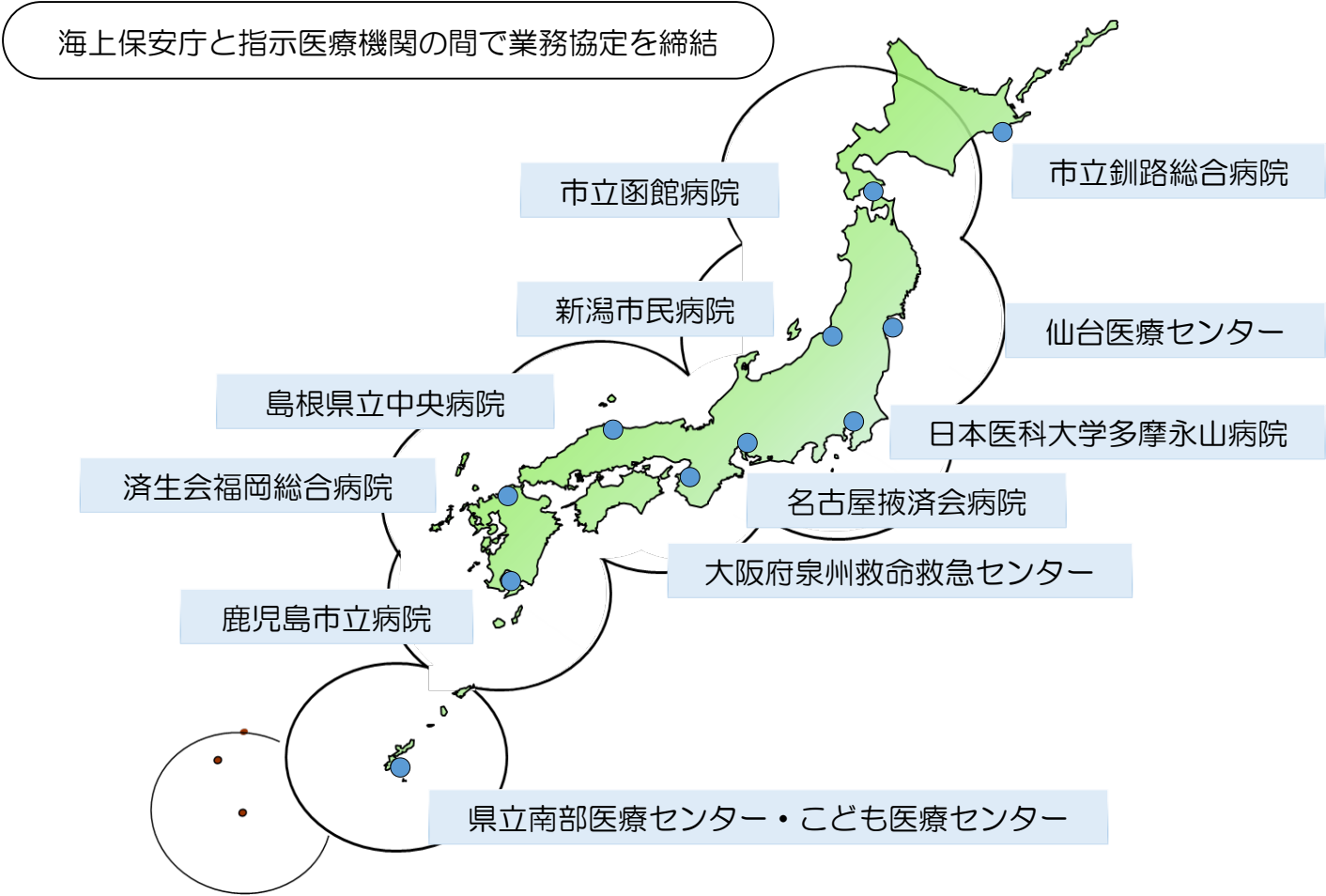
平成31年4月 海上保安庁救急員配置  
※ 消防救急隊員と同じ範囲で応急処置を実施する要員

# 救急救命士及び救急員の配置状況

救急救命士 : 37名  
救 急 員 : 67名  
合 計 : 104名



| 所 属     | 救命士 | 救急員 |
|---------|-----|-----|
| 函館航空基地  | 4   | 5   |
| 仙台航空基地  | 4   | 5   |
| 特殊救難基地  | 8   | 18  |
| 関西航空基地  | 2   | 5   |
| 福岡航空基地  | 4   | 5   |
| 美保航空基地  | 3   | 6   |
| 新潟航空基地  | 3   | 5   |
| 鹿児島航空基地 | 4   | 4   |
| 那覇航空基地  | 3   | 7   |
| 石垣航空基地  | 2   | 7   |
| 合 計     | 37  | 67  |



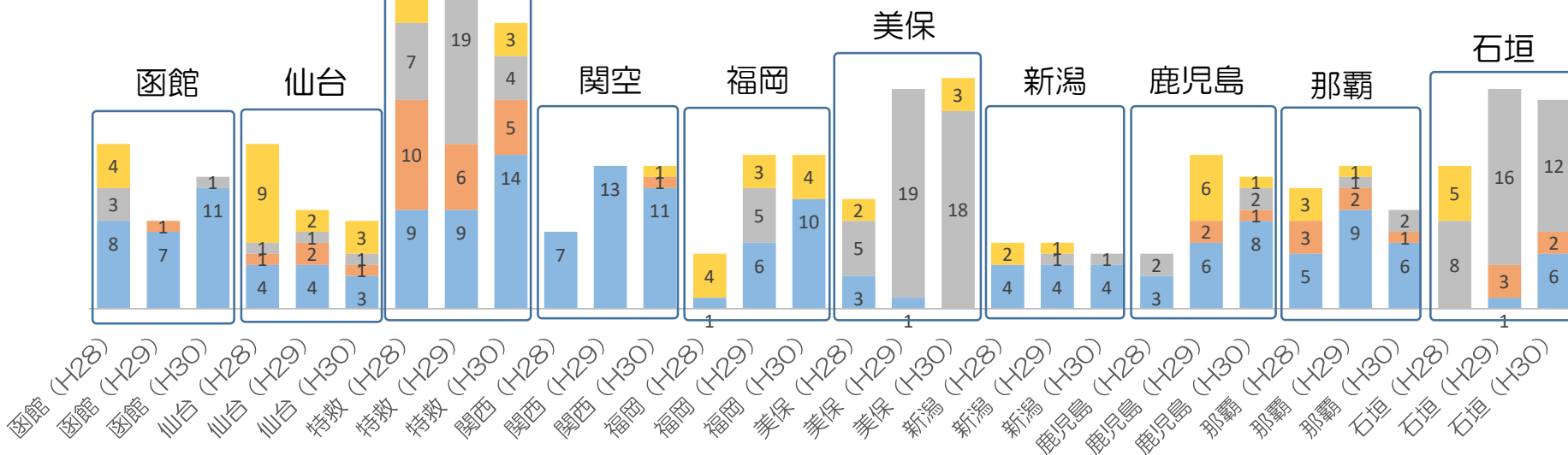
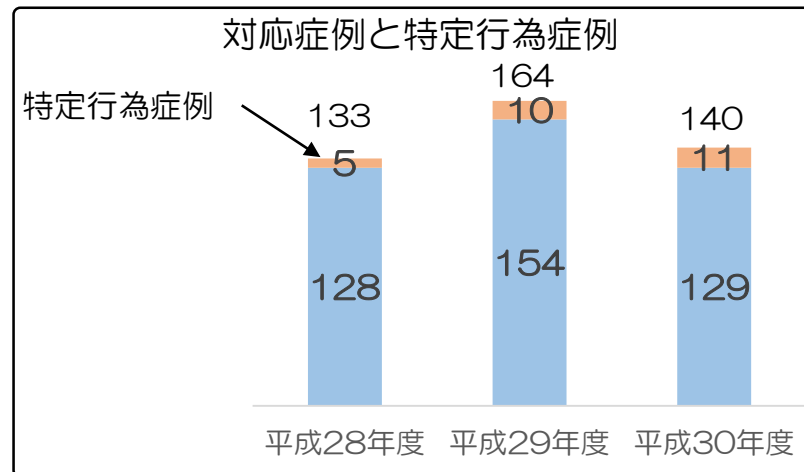
# 組織別対応状況と特定行為症例

組織別（全症例）

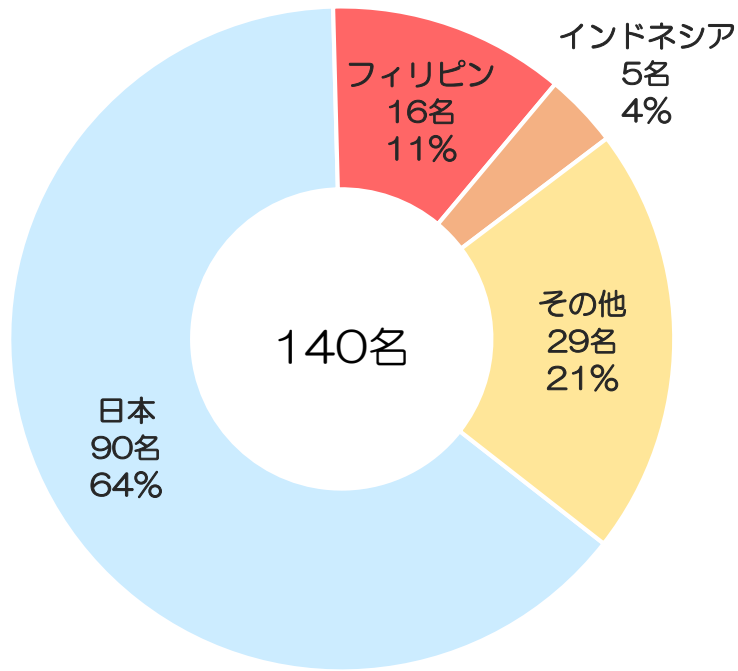
■ 急患輸送 ■ 洋上救急 ■ 陸陸間搬送 ■ その他

羽田特救

※ 陸陸間搬送：自治体等からの要請により、医師等が同乗し、離島から搬送

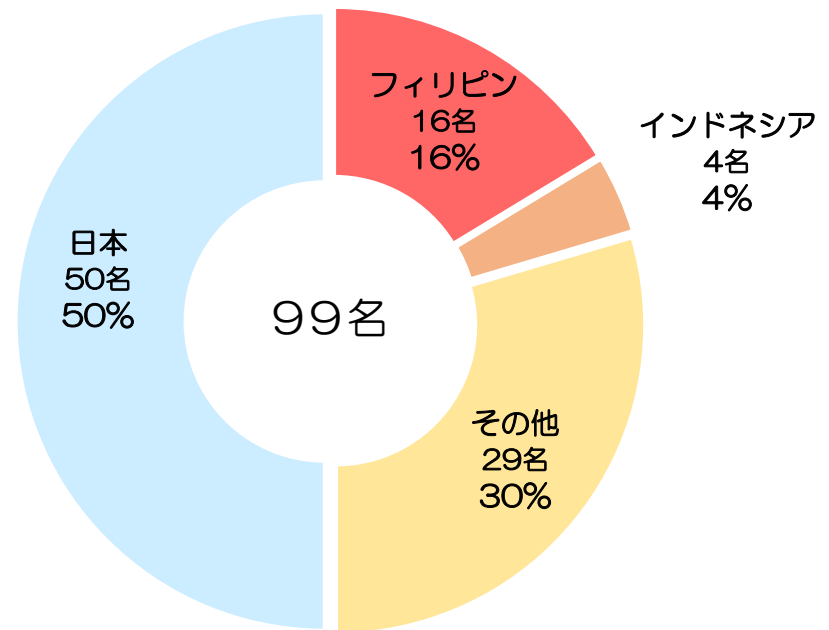


国籍別（全症例）



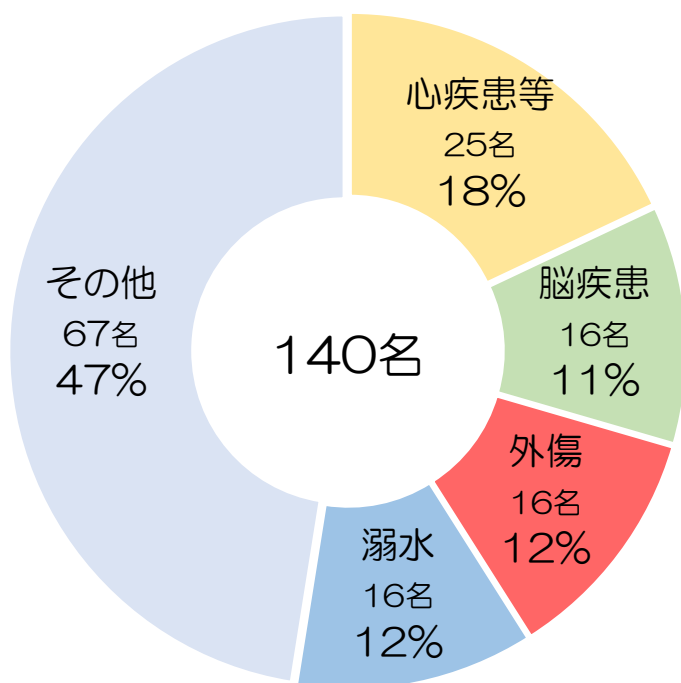
➤ 外国籍傷病者の対応が**約4割**を占める。

国籍別（除く陸陸間搬送）



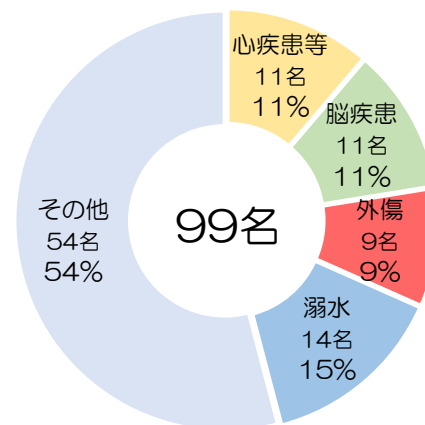
➤ 外国籍傷病者の対応が**約5割**を占める。

傷病別（全症例）

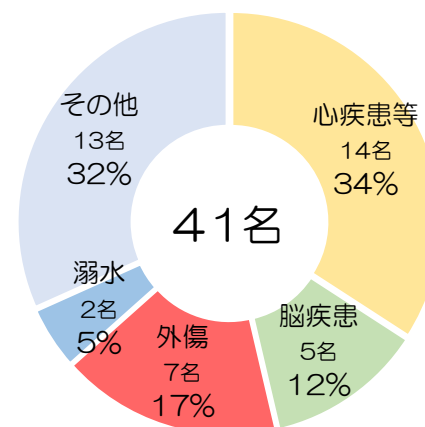


➤ 心疾患症例への対応が多い

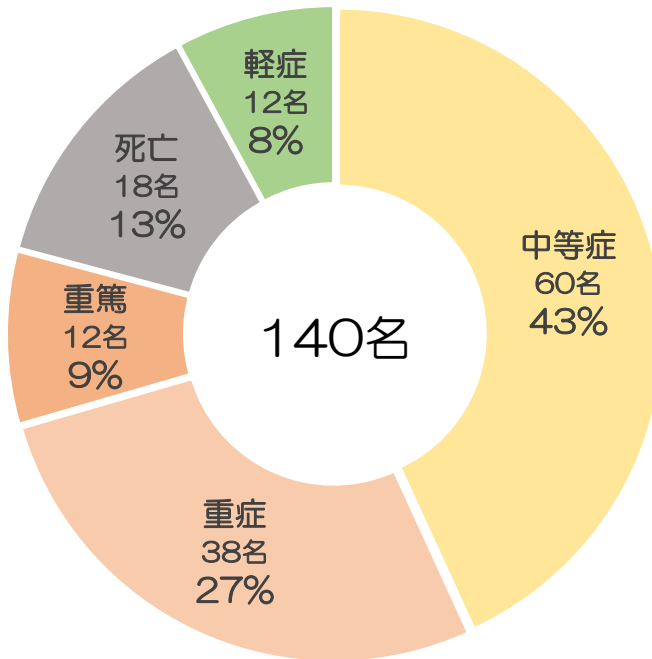
傷病別（除く陸陸間搬送）



傷病別（陸陸間搬送）

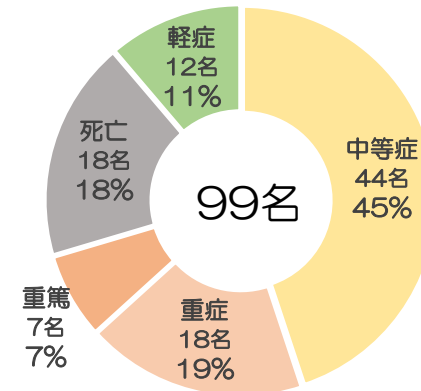


重症度別（全症例）

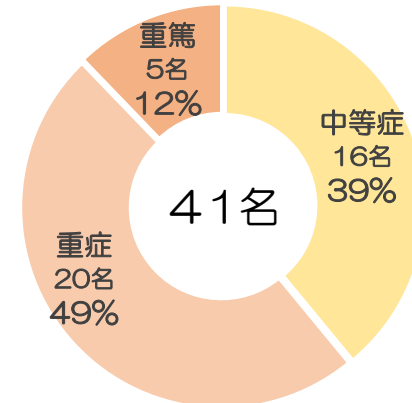


➤ 中等症以上の傷病者が9割を占める。

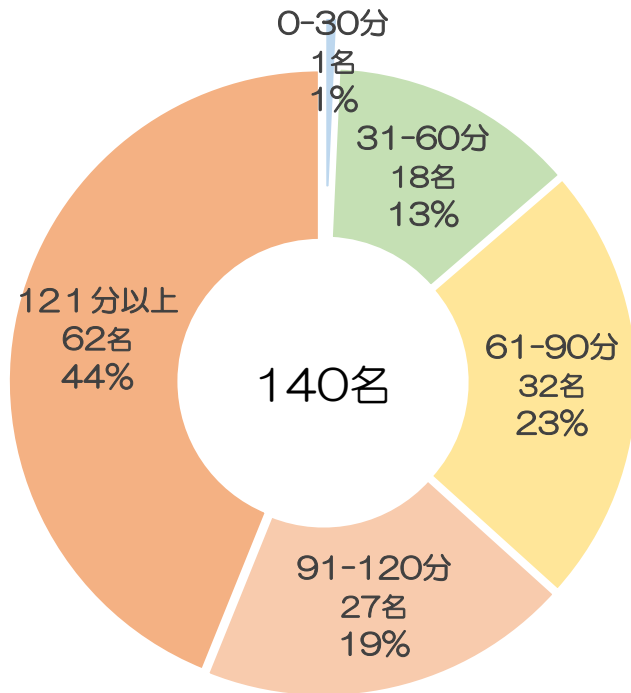
重症度別（除く陸陸間搬送）



重症度別（陸陸間搬送）

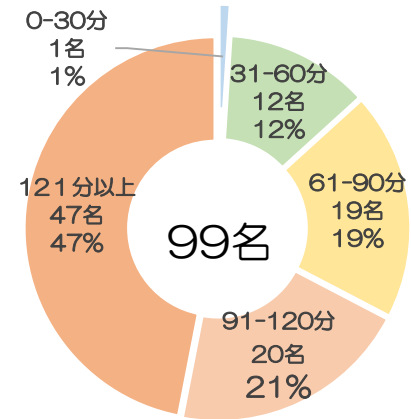


## 傷病者接触時間別（全症例）

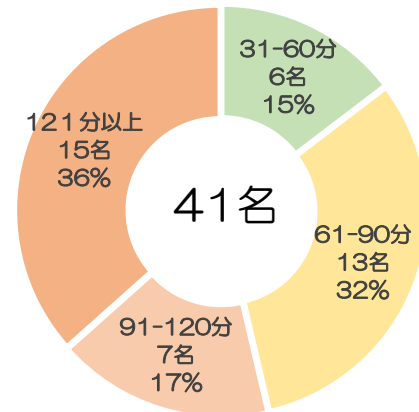


➤ 120分を超える症例が4割を占める。

## 傷病者接触時間別（除く除陸陸間搬送）

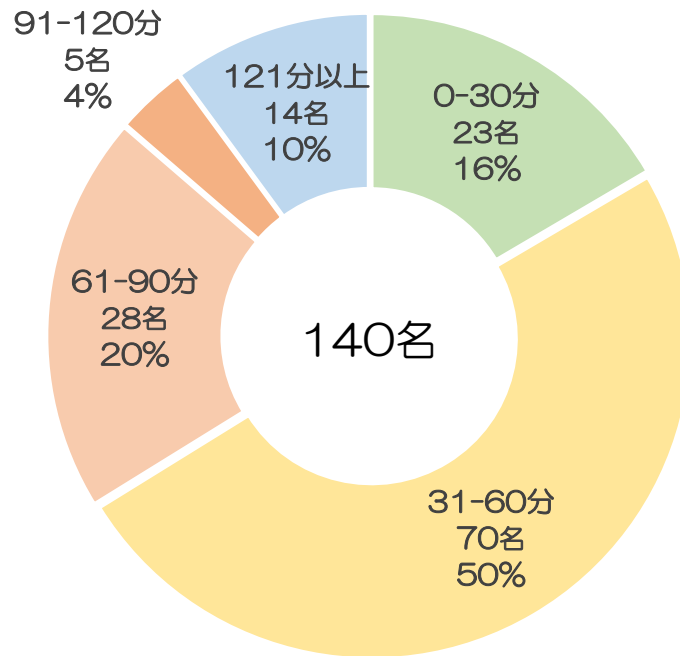


## 傷病者接触時間別（除陸陸間搬送）



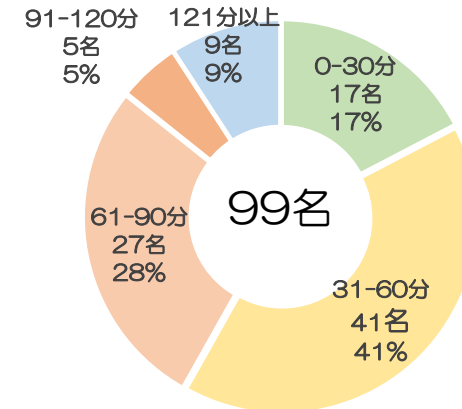
# 傷病者搬送時間の状況（傷病者接触→引継ぎ）

傷病者搬送時間別（全症例）

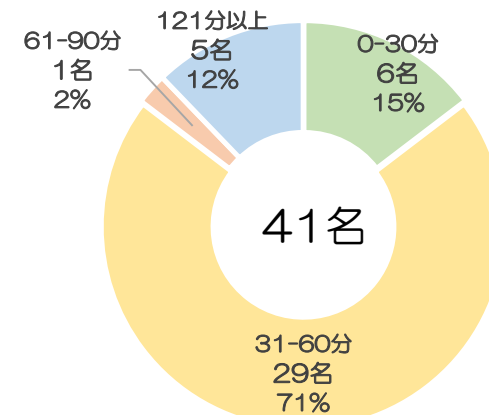


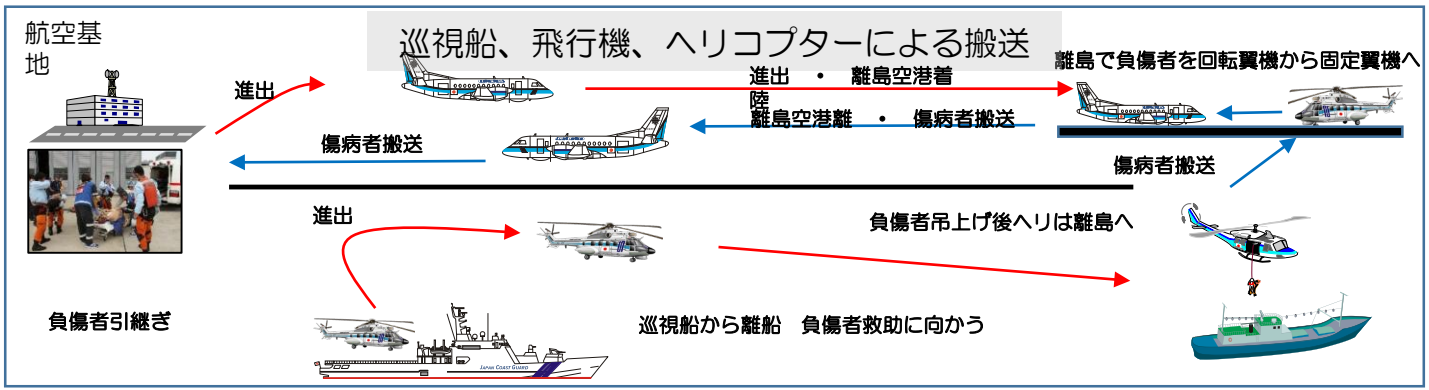
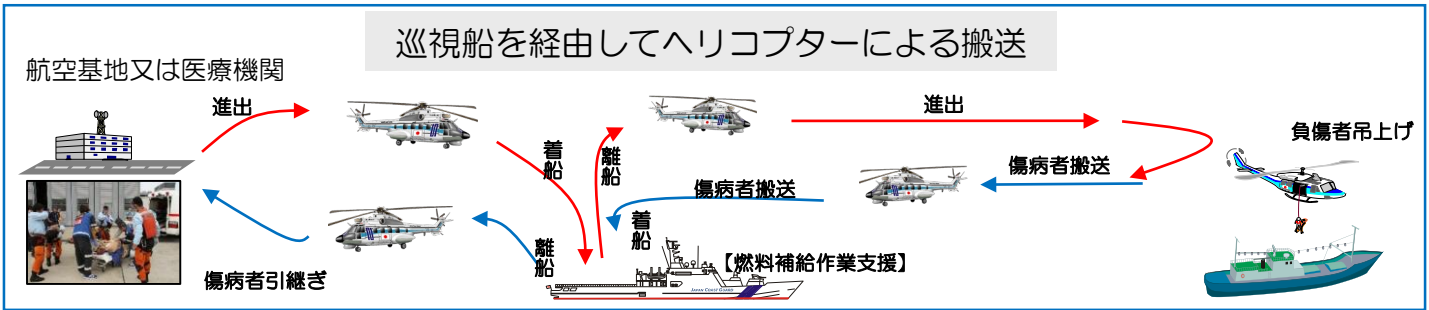
- 120分を超える症例が1割を占める。
- 昨年度において、最長の搬送時間は、犬吠崎沖約650km付近海域からの搬送症例であり、**搬送時間が約26時間**であった。

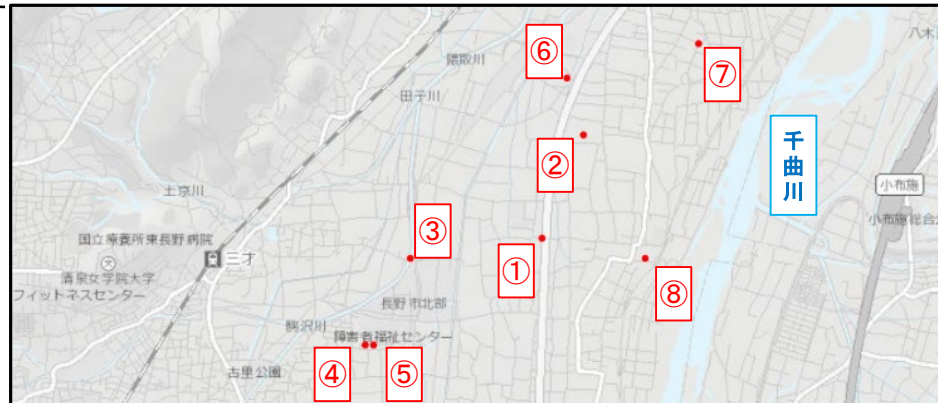
傷病者搬送時間別（除く陸陸間搬送）



傷病者搬送時間別（陸陸間搬送）







MH916 (乗組員5名、新潟航空基地機動救難士2名)

### 救助実績

13日

|                    |      |           |               |            |
|--------------------|------|-----------|---------------|------------|
| ①                  | 1040 | 長野県長野市千曲川 | 孤立者           | 2名 (男1、女1) |
| ②                  | 1054 | 〃         | 孤立者           | 2名 (男1、女1) |
| ③                  | 1250 | 〃         | 孤立者           | 2名 (男1、女1) |
| ④                  | 1315 | 〃         | 孤立者           | 2名 (男1、女1) |
| ⑤                  | 1319 | 〃         | 孤立者           | 1名 (男1、女0) |
| ⑥                  | 1345 | 〃         | 孤立者           | 2名 (男1、女1) |
| ⑦                  | 1600 | 〃         | 孤立者           | 2名 (男1、女1) |
| ⑧                  | 1635 | 〃         | 孤立者           | 3名 (男1、女2) |
| ※ ヘリからのホイスト降下及び吊上げ |      |           | 合計16名 (男8、女8) |            |

搬送先：東和田運動公園



# 台風19号に伴う災害対応② 宮城県 丸森町吊上げ救助位置図



搬送先：ざおうB&G海洋センター

搬送先：宮城県南中核病院

搬送先：角田運動公園

MH965・MH920（乗組員5名、機動救難士2名）

## 救助実績

### MH965

|     |   |      |        |     |           |
|-----|---|------|--------|-----|-----------|
| 13日 | ① | 0828 | 宮城県丸森町 | 孤立者 | 4名（男1、女3） |
|     | ② | 1021 | 〃      | 急病人 | 1名（男1、女0） |
|     | ③ | 1306 | 〃      | 孤立者 | 2名（男0、女2） |
| 15日 | ④ | 1528 | 〃      | 孤立者 | 4名（男1、女3） |

### MH920

|     |   |      |        |     |           |
|-----|---|------|--------|-----|-----------|
| 13日 | ⑤ | 1200 | 宮城県丸森町 | 孤立者 | 1名（男0、女1） |
|     | ⑥ | 1446 | 〃      | 孤立者 | 2名（男1、女1） |

※ ヘリからのホイスト降下及び吊上げ 合計14名（男4、女10）

